

教会創立103周年

週報

2026年5月31日 5396週

【今年度のテーマ・聖句】

神の愛によって生きるキリストのからだ
「見よ、兄弟たちが共に座っている。

なんとという恵み、なんとという喜び。」

(詩編133編1節)

巻頭言

牧師 加藤英治

教会暦のはなし——ペンテコステの祝い方について

ペンテコステ(聖霊降臨祭)は、キリスト教会の三大祝祭の一つです。その位置づけからしたら、クリスマスやイースターと同等に大切なわけです。しかし、実際は特に日本の教会では、ほとんど祝われることがありません。でももう少し良く、覚えお祝いすることはできないでしょうか。いくつかの事例をご紹介します。

まず、教会暦には「典礼色」というものがあつて、その教会暦の時期にふさわしい色が定められています。ペンテコステの典礼色は、おそらくは炎を象徴する「赤」です。「ペンテコステの日には、何か一つ赤いものを身に着けて礼拝に出る」というのは、その一つの方法です。

また、聖書は、「聖霊の降臨」を、実に様々な比喻、イメージによって表そうとしています。「何々のように」という表現が、多く見られるのです。「炎のように」「風のように」「鳩のように」「舌のように」……。これらのイメージを、様々な手段と方法で表そうとします。例えば、次のようなことが考えられます。

- ①「鳩」や「炎」の形のモビール(吊るす飾り)を、礼拝堂に吊るす。
 - ②「風」は形がないので、風で回る風車を教会に飾る。
 - ③これらの形のワッペンを作り、出席者はそれを付ける。
 - ④「鳩」や「炎」の形のクッキーを作り、出席者におみやげとして配る。
 - ⑤色々な言語で、聖書の言葉を朗読する。
- さらに、「特別なお祭り」なので、礼拝後に茶話会や愛餐会を持つことも良いでしょう。

いずれにしても、ペンテコステの次のような意義を踏まえながら、迎え方・祝い方を考えてみたいと思います。

「あらゆる相違を超えて共に集う共同体、力強くみ言を証しする説教、聖霊への祈願と感謝、霊の賜物の豊かさに対応する豊かな典礼、聖霊の自由に支えられた会衆の自発性、意義深い聖書的シンボルの活用、宣教への方向性の強調などが、ペンテコステ礼拝を生き生きとした意義深いものにしてくれるはずだ。」(今橋 朗 『礼拝を豊かに 対話と参与』より)

日本バプテスト シオン山教会

牧師：加藤英治

〒803-0846 北九州市小倉北区下到津2-1

TEL:093-561-0772 Fax: 093-561-0760

E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

HP-address: <https://bapzion.com>



◆ 主日礼拝

午前 10 時 30 分

司会 山下一恵執事
奏楽 田中秀一兄

前 奏
 招 詞 詩編 16 : 10 ~ 11 (口語訳)
 頌 栄 6 6 7 (聖なるかな聖なるかな)
 主の祈り (新生讃美歌の扉を参照)
 交 読 2 4 (主を讃美せよ)
 讃 美 6 1 7 (わが生けるは)
 聖 書 I テモテ 6 : 11 ~ 19
 (新共同訳 389 p 口語訳 331 p)

祈 禱
 子どもメッセージ 加藤英治牧師
 讃 美 1 3 4 (生命のみことば
 たえにくすし) 聖歌隊
 宣 教 「神さまが共にいてくだされば」
 加藤英治牧師

祈 禱
 讃 美 6 1 4 (主よ 終わりまで)
 献 金 祈り：磯部みゆき姉
 (教会学校)

頌 栄 6 7 4 (父 み子 聖霊の)
 祝 禱 加藤英治牧師
 後 奏
 報 告

◎今月の聖句

「神の霊によって導かれる者は皆、神の子なのです。」

(ローマの信徒への手紙
8 章 14 節)

本日の集会

教会学校

幼小科

10 : 30 ~ 11 : 40

中高科、青年・成人科

9 : 30 ~ 10 : 15

主日礼拝の当番

受付：船津丸泰 田中登美子

お花：大里家

会堂清掃

11 : 50 ~ 12 : 05

教会清掃整備

◎今週の集会(5月31日~6月6日)

<聖書> II テモテ 1 : 3 ~ 14

3日(水) 祈禱会 I 10 : 30

祈禱会 II 19 : 30

(司会・奨励 加藤英治牧師)

今週の聖書日課と祈り

31日(日) I テモテ 6 : 11 ~ 21 田中由紀子

1日(月) エフェソ 6 : 10 ~ 20 林田義勝

2日(火) フィリピ 1 : 27 ~ 30 廣津陽子

3日(水) ペトロ I 4 : 12 ~ 19 藤岡幹隆

4日(木) ローマ 12 : 9 ~ 12 藤田 恒

5日(金) ヨハネ 3 : 1 ~ 15 二木榮子

6日(土) コロサイ 1 : 24 ~ 29 船津丸泰